



# かけはし

岩国市立錦中学校だより 第20号

令和6年(2024年)2月26日(月)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



## 感動の「立志の会」～「夢」から「志」に変わる瞬間～

令和6年2月9日(金)、2年生にとってはとても大切な行事である「立志の会」が行われました。2年生8名全員が保護者、錦千守会、教職員が見守る中、「立志の決意」を力強く表明しました。「夢」「将来の自分へ」「私の夢」「道のりの長い理想像」「姿」「ノードリーム」「将来の夢、これからの私」「将来の自分」今の自分の気持ちを各自が自分の言葉で表現し、自分の想いを伝えました。

錦千守会からは書籍「君たちはどう生きるか」が贈呈され、和田会長から激励のお言葉をいただきました。錦千守会のみならず、本当にありがとうございました。

また、保護者のみなさまから2年生へお手紙のプレゼントがありました。一生の宝物になったのではないのでしょうか。それから、2年生全員によるハンドベルでの「オーバー・ザ・レインボー」の演奏がありました。「感謝」の気持ちのこもった心温まる演奏でした。

### 「志を立てて もって 万事の源となす」

吉田松陰先生が25歳の時、徒弟の玉木彦助の元服を祝い贈った「士気七則」の中の言葉です。意味は何事をするにも「志」がなければ、何にもならないという意味です。

この「士気七則」には、志を立てることがすべての物事の出発点となる。道德、仁義、仲間を大切に生きていく。しっかり書を読み、たくさん賢者、多くの方から学び、自分に生かさないといった元服になるうえで大切なことが示されています。

今、2年生は「将来こんな仕事がしたい、こんな大人になりたい、こんな生き方をしたい」といろいろな夢を描いているでしょう。

もし、今、みなさんがあくまで自分を中心に、なりたい自分の姿を描いているとしたら、それは「夢」です。

もし、様々な人との出会いや経験から「今、世の中が求めていること、自分を取り巻く人々が求めていること」は何なのかを気にするように進化して最後は「人の役に立つ、人の喜びにつながることは何なのか」を考えるとそれは「志」です。

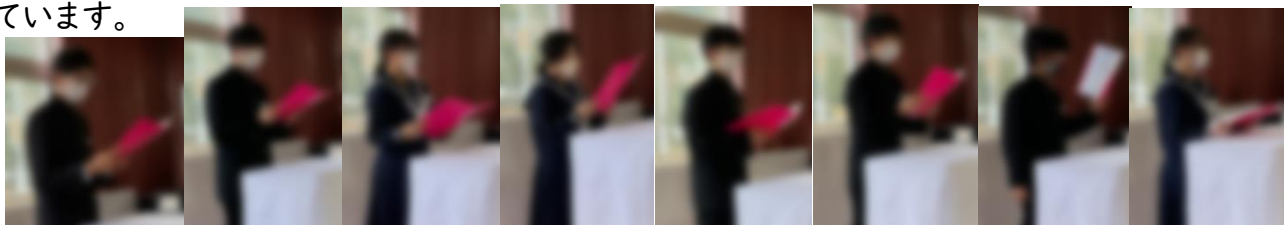
今日は「夢」が「志」に変わる瞬間です。単に14歳が元服、大人になるということではなく、いよいよ大人としての責任、使命を考える時が始まると認識する日かもしれません。

生き方を学ぶ子どもから、生き方を伝える大人へ「すてきな大人」へ成長することを祈っています。

やればできる!!君たちならできる!!

【立志の会 校長あいさつから】

2年生の立志の決意はまさに「夢」から「志」に変わる瞬間でした。今日の日を忘れないでください。そして、「立志の会」記念文集『未来への扉』を大切にしてください。すてきな仲間の「志」が詰まっています。



# 図書委員会プレゼンツ白熱した百人一首大会！



令和6年2月13日(火)に図書委員会主催で「錦中学校百人一首カルタ取り大会」が開催されました。縦割りの8つのチームに分かれ、競技を行いました。先生方は各グループに突然入り、勝負を挑みました。オークリー先生は何と4枚ゲットされていました。レベルが高く、上の句が読まれた瞬間にカルタを取り合う場面もありました。

1枚ゲットする度に歓声があがり、「悔しい」と叫ぶ生徒もいますが、なぜか「笑顔」です。「本当に錦中生は、みんな仲がいいんだな」と改めて感じました。勝負にこだわり、白熱しているが、心温まるすてきな百人一首大会でした。図書委員会のみなさん、企画運営、会場準備から進行までありがとうございました。

## 清流線に千羽鶴が飾られる日が近づいています！

熟議で話し合ったことがいよいよ実現間近です。

小中合同持久走大会の後に折り鶴をみんなで折ってから、小中学生でさらに折り、2000羽以上の折り鶴が完成しました。

令和6年2月13日(火)に錦清流小・宇佐川小・錦中のPTA役員さんと教職員が錦中学校図書室に集合し、折り鶴のつなげ方講習会を行いました。遅い時間にもかかわらず、大変ありがとうございました。

色の並び方を濃い色から薄い色へと順序をしっかりと決めて、美しい千羽鶴の完成をめざします。各御家庭に持ち帰って作業していただき、繋ぎ合わせたら、錦中まで、持参していただくようになっています。

令和6年3月12日(火)に完成した千羽鶴を錦川鉄道さんに寄贈する予定です。どんな作品に仕上がり、清流線にどのような形で飾られるか、今から楽しみです。

